

向台小学校区タウンミーティング議事録

平成30年7月12日（木）13:30～15:30 本庁舎第3会議室

- 1 市長挨拶
- 2 出席者紹介
- 3 事業報告及び話し合い
 - ①いきいきいばらきゆめ国体開催について
 - ②風水害や土砂災害に備えて—自らの命、家族の命を守るために—
 - ③市民満足度調査結果
 - ④ブロック塀の安全点検

4 行政区の意見等話し合い

南部行政区：成井、原新田、遠山地区内の雨水等U字溝の施工と原新田地区の幅の拡張、及び路面排水対策を早期にお願いしたい。数年間同じ要望を出している。特にネックになっているのが、地図で示した赤い線の部分。延長線上が常磐線をくぐり、国道6号線をくぐって牛久沼に流れる。出口の部分はなかなか水が流れにくいので、そこを解消しないと排水工事が進まない。先日、私たちの要求はU字溝や排水溝をつくって欲しいわけではなく、雨が流れず人が通れないほど水が溜まってしまう場所が何カ所か見受けられ、生活の実態としてあるので改善をして欲しい。その為にU字溝をつくって欲しいが、前提としては水が溜ったり歩行できなくなる状況を改善して欲しいというのが要望である。整備ができていないので難しいとの回答があり先日理解をしたが、牛久市としてこのような状況でやれることはあるのではないかという話をさせていただいた。長い間要望してきたことが先送りになると思うが、牛久市の中で改善していただきたい。

建設部長：成井、原新田、遠山地区の雨水関係について、根本的な解決というのは難しく、遠山川の流末である牛久沼までの排水路整備は欠かせないと思う。これを整備するとなると6号国道のバイパス工事を実施しているが、遠山川の整備も併せて進めていく方向でいる。時間がかかる状況にある。完成までの間、今できることの対策をとる提案があったので、検討して区長と協議等しながら、できるものから対応していくよう考えている。その際は、相談に参るのでお願いしたい。

南部行政区：女化から龍ヶ崎ニュータウンに向かっての広域農道は、高校生の自転車通学が非常に多い。草が伸びてしまうと高校生が歩道をはみ出し、車道を

走行する場面が見受けられるので草刈りをお願いしたい。市でも随時現場を見ていただき対応していただいている状況ではある。しかし南部地区は市道の広い部分に対しての草の繁茂が多い。行政区の中でも手分けして草刈りを実施しているが、市道に付随する側面の草刈りは、随時現場を見ていただきたい。向台小学校の下に信号機があるが、木がかぶっており予備信号が見えない。市で巡回し確認をお願いしたい。

建設部長：カントリーラインの草刈りについて、歩道にかぶっているとのことで写真も撮ってきた。確かに歩道に草が繁茂している状態であった。タウンミーティング前にカントリーラインの路肩部分については草刈りを実施した。除草についても現地を確認しながらとの意見もあったので、できるだけきれいな状態で通行ができるように注意して草刈りを実施していく。

南部行政区：南部地区に防犯カメラを設置してほしい。住民の意見が非常に多くでた。牛久市は茨城県内でも防犯カメラ設置数が一位で、十分な対策を講じているとの回答をいただいている。しかし南部地区は暗い山道が多く、牛久地区から南部を通過し、暗い山道を自転車で通う高校生が多くいる。過去にも小学生がいたずらされた場所もある。防犯カメラ設置をしていただきたい。

市民部長：警察と協議して重点地域を設け、整備を進めている。今後整備を進め重点地域として考慮していただけるよう検討させていただきたい。防犯面では、枝が覆いかぶさっている場所が見受けられるので、防犯の観点から点検をしていく。

向台行政区：職員の迅速な対応に感謝申し上げる。通学路での車両の速度制限について、小学生の通学路（ふれあい通りから「ジョイフーズ」小学校まで7：20～8時まで交通量が多くなった。南部地区の道路が整備されたこともあつてか、国道6号の渋滞を避けるために、向台小学校前からふれあい通りを抜け、つくばや土浦方面へ向かうサラリーマンが多い。ジョイフーズ前の信号は、2.3回待つ。40キロに速度制限されているにも拘らず、60キロくらい出している。ジョイフーズから向台小学校まで横断歩道は4カ所あるが、横断歩道の白線を盛り上げるように引いてほしい。事例として、東京都で盛り上がりのある白線を引いたところ、スピードを緩めるようになったとニュースで聞いた。横断歩道の白線の引き方について考慮していただければ、ある程度の効力はあると思う。実際に40キロの速度制限になっているが、遵守し走行している者はいない。50キロ～60キロで走行している。

当行政区は、民生委員が5名いる。そのうちの1名は当行政区と、準行政区の「みはらし台」（約120世帯）を担当している。高齢化になり、戸数も増え手に負えなくなってきたので、次期改正期には「みはらし台」を外して欲しい。

市民部長：交通速度制限について、警察に通学時間帯の巡回パトロールを依頼する。7月23日に、ジョイフーズ駐車場をお借りして夏の交通安全キャンペーンを実施する。通過車両のドライバーに交通安全を呼びかけるので、周知を徹底する。

保健福祉部：民生委員の定数に関しては、県の条例の中で牛久市の定員が定められており、主任児童委員（8名）を含めて現在123名いる。民生委員は3年に1度の改選時期があり、直近では、平成28年に改選をした。次回は平成31年になる。平成31年の定員については県より牛久市の定数は123名のままと伺っており、増員の予定はないとの回答をいただいている。更なる増員については、その次の改選時となるので、増員の要望をおこなう際には、県と協議していく。みはらし台も向台行政区に担当いただいているので、今後は、みはらし台から民生委員を推薦していただけないかという協議も含め、担当と話し合っていきたい。

市長：道路について、警察との協議事項であるが協議を待っているだけでは改善につながらない。高速道路でもトンネルの前では目の錯覚でスピードを緩めるなど、目の錯覚によって減速させる方法 例えば、同じ道だが塗装により道が狭く見るとスピードを緩める傾向にあるそうだ。何地区か道路の線を工夫しているが、人間の心理をうまく使った方法を用いて取り組んでいるので、時間をいただきたい。

緑ヶ丘行政区：公園の管理について、公園里親制度がある。都市計画課へ出向き調べ、これから住民の方と一緒に里親制度を進めていければということで勉強中である。

子どもの見守りについて、6月に南中学校で防犯会議があり、その場でも発言させていただいたが、登下校の事故が多い。毎日見守りはおこなっているが、高齢化が進んでおり、徐々に見守りする方が減っているのが実情。若い方が見守りに参加いただけるかということ、なかなか難しい。龍ヶ崎市では、15時になったら子どもの声で「私たちはこれから下校しますので、地域の方は見守りをお願いします」と、防災無線を利用し放送をしている。龍ヶ崎市にいるとき

に聞いたことがあるが、女の子のかわいい声で放送されていたので、興味深く何だろうと思い聞いた。お金のかからない防災無線を利用し、女の子の声で「これから下校するので地域の方の見守りをお願いします」と放送すれば、家庭菜園や外に出ている方も、これから子どもたちが下校すると気づく。多くの見守る目が必要だと思う。牛久市全体で子どもを見守る体制が取れるのではないかと。小学6年生の女子はしっかりしており、当行政区にも候補がいる。

市長：早速実施させていただく。12時のチャイムも、畑仕事や家庭菜園などで外にいると何時か分からないので、放送してくれないかと市民の声から始めたものである。防災無線であれば苦情も出ず、子どもの下校を知らせることができる。お金もかからないので早速実施する。

東区行政区：東口にある筑波銀行から関電工までの道路は、40キロ規制だが、朝晩通勤車両や通学の自転車が非常に多く、事故が起きないのが不思議なくらいの通行量がある。実現は難しいと思うが、歩道を設置してほしい。それには道路が狭いので拡幅になるかと思うが、要望として述べさせていただく。とんかつ風間前の事故も多い。以前に信号機設置の要望を出したが設置は難しいようなので、歩道を設置してほしい。

建設部長：関電工から南側については団地内に歩道等設置してある部分もある。結論から申すと建築物が多くあることから拡幅は難しい。拡幅はできないまでも、何か方法はあるか研究をしていきたい。意見を承った。

みどり野行政区：市の対応について、レスポンスが早くフットワークが軽い。区民も喜んでいる。感謝申し上げたい。空家について、市の条例を見たところ、情報提供から助言及び指導、勧告、命令、公表と空家解決までのプロセスで、この空家はどのような状況にあるのか分かるといい。住民も変化がないと不安や、市が適正に対応してくれているのかとの声を聞くので、ここの空家はこんな状況だということと、こういう対応をしているという情報を発信してほしい。開示要求すれば開示してもらえるのか。

建設部長：29年度に各行政区に対し、空家の場所と適正に管理されているか、不適切な管理かを色分けした地図を区長宛てにお渡ししている。30年度の空家の状況をお渡しする予定。

みどり野行政区：あくまでも市で管理している（できている）空家についてと、

管理できていないものの2通りか。

建設部長：市で把握している空家について、草刈りや適正に管理されている空家（個人が管理している空家）市が把握している情報の中で、その空家が管理されているもの、反対に管理されていない空家を色分けした地図をお渡ししたいと考えている。

みどり野行政区：いろいろなプロセスの中で、今この空家は、この状態にあるという情報はないのか。

建設部長：誰でも情報が見れるような情報は渡していない。空家があり管理されているか、管理されていないかのみ。個人的な情報もあるが、直接空家対策課に問い合わせさせていただきたい。

みどり野行政区：高齢者の見守りについて、区でも対策を考えているが、高齢者に対しての夜間や移送サービスを実施しにくい。自家用車で病院へ送って欲しいとの相談も受け、送迎をしている。病院の送迎はお金がかかるので相談してくる高齢者がいる。我々ができる範囲はどこまでなのか。自家用車でできるようになれば、密着したサービスとして近所に住む高齢者にサービスができるのではないのか。

経営企画部長：ボランティア移送サービスは、二小地区で買い物支援ということで実施している。つつじヶ丘～TAIRAYAの買物支援。その他に、岡田小地区社協が10月から実施を予定している。買物のほかに、通院支援も考えている。そういった形をとっていただければ可能である。ただ、地区からボランティアとして実施を考えている場合は、公共交通対策室へ相談いただければと思う。白タクのように法的な規制がある。支援を含めて相談に乗る。

みどり野行政区：みどり野区民会館は、築18年になる。学校関係の耐震工事は終了したと聞いているが、区民会館が第一避難所として指定されているので、区民会館の耐震検査は実施していただけないのか。また、区民会館にソーラーパネルを設置した場合、補助金は交付されるのか。

市民部長：区民会館の建設や修繕について、市の補助金要綱がある。区の方で2分の1、市の方で2分の1の負担で事業を行うことになるが、売電目的では補助金は交付できない。微妙な部分もあるので、後ほど市民活動課に相談をいた

だきたい。5か年計画の中に設置希望を出していただきたい。

みどり野行政区：移送サービスについて、分かりづらいところがたくさんある。当行政区で実施しようとしていることがあるのだが、ギャップありそうなので一度ご相談をしたい。行政区として丸投げしようとは考えていない。コストを最小限に抑えるということを考えながら、構築していこうと考えている。どういう状況で制限があるのか、今一つ見えないところがある。それを整理して5年後くらいに実施したいと考えている。公共交通対策室へ相談に伺う。

政策企画部長：国の規制も「こうやってください」というものはない。「これはダメです」という言い方しかないので、いくつかご相談いただき陸運局とつないで相談に乗るので、個別にご相談いただければと思う。

みどり野行政区：「これはダメです」という制約が一番難しい。

政策企画部長：料金についても「ここだったらこれくらいの料金だろう」というのが一切ないので、こちらから例えば「この距離だったら100円でどうか」という問い合わせの仕方ではできないのが実情。

みどり野行政区：行政区でアイデアがあるが、話を聞いていただき、合っているかどうかをご教授願いたい。

東みどり野行政区：昨年度、敬老の日大会を実施するにあたり、市からいただいた書類の中に、当行政区から、みはらし台へ引っ越した方の名前があった。みはらし台に6軒ほどの住宅が建設されており、市民活動課へ確認を依頼したところ早急に対応していただいた。行政区は南部行政区になると聞いているが、1軒当行政区から引っ越した方がいるとのことで、はっきりするよう伝えた。向台小学校区の防災訓練の打合せで、準行政区の栗山区長の連絡先を聞き、お会いした。確認をしたところ、準行政区では把握をしており、区費も支払っていただいているとのことであつたので、最終的には、当行政区から外れると分かったが、みはらし台の栗山区長は現役で仕事をされており、母親が息子に代わって区長代理を行っている。129世帯あり、アパートは32世帯という中で、班長兼区長をされており、もう一人の班長は会計の方であるようだ。他に4名いるが、計6名で129世帯をまとめているという話を聞き、大変な労力の中で運営されていると感じた。準行政区に対して、市の方向性はどうか考えているのか。準行政区でやっていけるといふ部分が根付いており、難しいと思

うが、もう少し考慮してあげてもいいのではないか。

民生委員より南6丁目5番地の3軒は、当行政区ではなく、向台行政区の管轄ではないかとの話があった。調べていただいたところ、向台の大峰区長より、向台行政区の管轄である知らせていただいたので、準行政区から移動があった時は注意をはらっていただきたいと思う。回答は理解し、役員に伝える。

向台の大峰区長からあった、車両の速度制限について、佐藤文化幼稚園前のカーブは、まん中にポールが設置されており、自分もブレーキを踏んで速度を落とす。ポールをジョイフーズのところまで延長すれば、かなり速度制限する気がする。

市民部長：みはらし台の件は、何年か前にも役員が交代され、お話する機会がなかった。調整が不足していたので、今後は支援という形で、みはらし台とコンタクトを取っていきたい。道路のポール延長の件も意見をいただいたので、検討していく。

15時05分終了